

法曹コースの紹介

法曹コースから法曹（裁判官・検察官・弁護士）
への第一歩を踏み出す



法曹コースとは

法曹(裁判官・検察官・弁護士)を目指す方が大学の学部段階から法曹になるための教育を受けることができるコース(課程)です。

主に法曹を養成する法科大学院との連携協力のもとで、体系的・一貫的な学修ができるコースです。大学を3年で早期卒業して、法科大学院(既修者コース:2年)に進学し、法曹となることを目指します。

法曹とは裁判官・検察官・弁護士を示す総称

【裁判官の主な仕事】

裁判官は、司法権の担い手として、憲法、法律と良心に従って裁判を行い、社会に生じた法的な紛争を解決します。裁判官が扱う事件は、人と人との間における権利の争いについて判断する民事事件や、罪を犯したとされる人について犯罪が成立するかを判断する刑事事件などがあります。

【検察官の主な仕事】

検察官は、刑事事件について、捜査及び起訴・不起訴の処分を行い、裁判所に法の正当な適用を請求し、裁判の執行を指揮監督するなどの権限をもっているほか、公益の代表者として民法等各種の法律により数多くの権限が与えられています。

【弁護士の主な仕事】

弁護士は、社会の中で起こる様々なトラブルを解決します。紛争に巻き込まれた人の権利を守るため、代理人として交渉や裁判を行ったり、犯罪をしたと疑われる人が適切な手続を受けられるように弁護するなどの活動を通して、基本的人権を擁護し、社会正義の実現のために活動します。

KEY WORD

「法科大学院」

法科大学院は、「法曹(弁護士、検察官、裁判官)養成を担うプロフェッショナル・スクール」です。質の高い法律家を養成するために2004年(平成16年)4月に創設されました。法科大学院では、双方向の授業や実務教育など特色ある科目が展開され、研究者教員と実務家教員により、理論と実務の両面から法曹に必要な知識・能力・素養等を身につけることができます。

KEY WORD

「司法試験」

法曹となろうとする者に必要な学識及びその応用能力を備えているかどうかを判定する国家試験です。法科大学院を修了すると、その受験資格が与えられます。なお、令和5年司法試験より、法科大学院在学中(最終年次)でも司法試験の受験が可能となります。

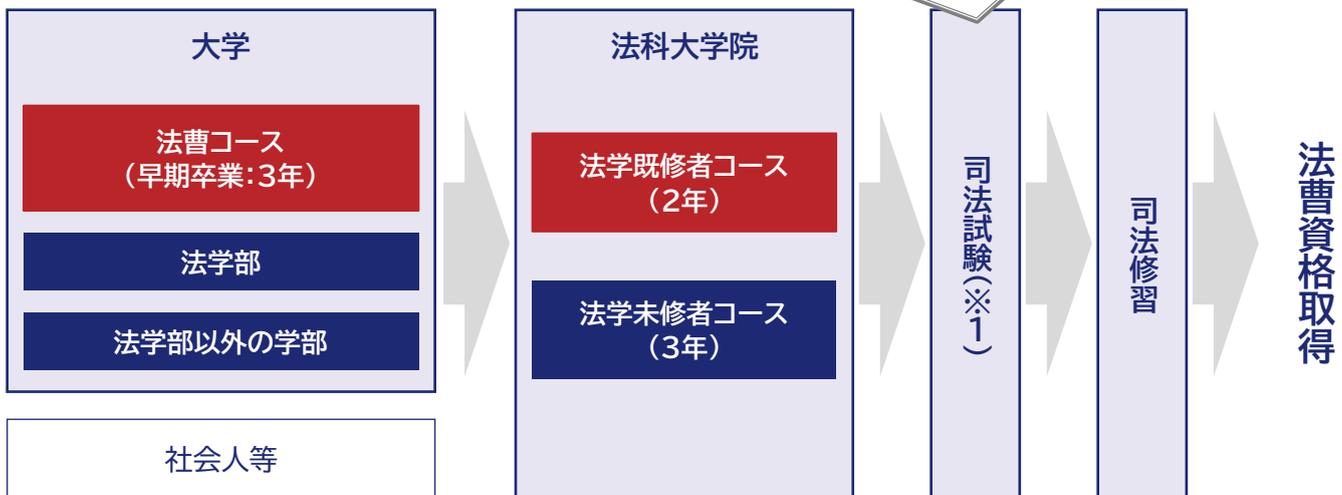
KEY WORD

「司法修習」

司法修習は、法科大学院で学んだ法理論教育及び実務の基礎的素養を前提として、法律実務に関する知識・技術と、高い職業意識や倫理観等を身につけます。最終試験(司法修習生考試)に合格することにより、判事補、検事又は弁護士となる資格が与えられます。

法曹コース修了から法曹になるまでのルート例

💡 法科大学院修了生の7割以上が合格(※2)



※1 令和5年司法試験より、法科大学院在学中(最終年次)に司法試験の受験が可能

※2 令和元年度法科大学院修了生の累積合格率(法科大学院修了後5年以内の司法試験合格率)

法曹コース 事例集

<令和7年4月1日時点>

※コース在籍者数は令和6年5月1日時点

※最新の情報は各大学のホームページ等をご確認ください。

Contents

北海道地方

北海学園大学／私立	2
北海道大学／国立	2

東北地方

東北大学／国立	2
---------	---

関東地方

千葉大学／国立	2
学習院大学／私立	3
慶應義塾大学／私立	3
上智大学／私立	3
専修大学／私立	3
創価大学／私立	4
中央大学／私立	4
東京大学／国立	4
東京都立大学／公立	4
日本大学／私立	5
一橋大学／国立	5
法政大学／私立	5
明治大学／私立	5
明治学院大学／私立	6
立教大学／私立	6
早稲田大学／私立	6

中部地方

新潟大学／国立	6
金沢大学／国立	7
信州大学／国立	7
愛知大学／私立	7
名古屋大学／国立	7

近畿地方

京都大学／国立	8
同志社大学／私立	8
立命館大学／私立	8
大阪大学／国立	8
大阪公立大学／公立	9
関西大学／私立	9
近畿大学／私立	9
関西学院大学／私立	9
神戸大学／国立	10

中国・四国地方

岡山大学／国立	10
広島大学／国立	10
香川大学／国立	10

九州・沖縄地方

九州大学／国立	11
西南学院大学／私立	11
福岡大学／私立	11
熊本大学／国立	11
鹿児島大学／国立	12
琉球大学／国立	12

<私立大学>

北海学園大学

法学部法律学科法曹養成プログラム

- 所在地 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4-1-40
- 問合せ先 法学部事務室
TEL:011-841-1161
Mail:sogolaw@hgu.jp
- Web <https://law.hgu.jp/program/early-graduation-system.html>
- コースの定員 定員なし(3年次コース在籍者数:16名)
- 連携先の法科大学院 北海道大学大学院法学研究科 法律実務専攻

雪だるまを作るように、しっかりと法曹を育てています。

特徴

本学は、北海道・東北地区で唯一の、法曹コースをもつ私立大学で、地元密着型の法曹養成を目指しています。本学法学部には1部と2部(夜間部)があり、両者は授業時間帯が異なる以外、担当者と授業内容に違いがありません。従って、2部学生が日中は働き、夜間は大学にて法曹コースを履修し、早期卒業による5年一貫型で法曹を目指すことも可能です。

各種取り組み

法曹養成プログラム対応の演習(ゼミ)を1部、2部(夜間部)両者に設置し、学生の求めに応じて、答案の個別添削指導を実施しています。さらに実務家教員が担当する科目を設置し、将来の法科大学院進学を見据えたカリキュラムを展開しています。加えて、提携先の北海道大学法科大学院の科目履修も可能で、1部の学生が移動のため本学科目の履修が困難である場合には、夜間の2部科目の履修で代替できます。

<国立大学>

東北大学

東北大学法学部法曹コース

- 所在地 〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内27-1
- 問合せ先 東北大学法学部教務係
TEL:022-795-6175
Mail:law-kyom@grp.tohoku.ac.jp
- Web <http://www.law.tohoku.ac.jp/education/3plus2course/>
- コースの定員 各学年30名(3年次コース在籍者数:42名)
- 連携先の法科大学院 東北大学大学院法学研究科 総合法制専攻

法曹を目指す学生の現実的なニーズに応える

特徴

本学法学部の法曹コースでは、①必修科目である六法科目、②選択必修科目である七法科目(六法及び行政法)に関する法曹実務演習、③その他の履修推奨科目等を通じた段階的学習が想定されており、早期卒業を目指す場合は3年次前期、通常の卒業を目指す場合は4年次前期までに、法科大学院の受験に必要な単位を揃えることが可能なカリキュラムが工夫されています。

各種取り組み

本学法学部の法曹コースを修了するためには、必修科目に加えて、選択必修科目として、七法科目に関する法曹実務演習(各2単位)を合計6単位以上取得する必要があります。他方、科目履修の上限はありませんので、希望する場合は、何科目でも演習を履修し、インテンシブな指導を受けることが可能です。

<国立大学>

北海道大学

法曹養成プログラム

- 所在地 〒060-0809 北海道札幌市北区北9条西7丁目
- 問合せ先 法学研究科 学事担当
TEL:011-706-3964
- Web https://www.juris.hokudai.ac.jp/general/ug/new_programs.html
- コースの定員 定員なし(3年次コース在籍者数:29名)
- 連携先の法科大学院 北海道大学大学院法学研究科 法律実務専攻

法学部と法科大学院との連携によるシームレスな法学教育の実現

特徴

(1)多くの授業は、法科大学院の教員又はその経験者が担当し、法科大学院教育との連続性を確保しています。(2)法律学の基礎を学ぶ講義科目の中には複数の弁護士等が担当する授業もあり、学習意欲の維持・向上が図られています。(3)多くのゼミでは、法科大学院進学に必要な知識を深め、論述能力を高める指導を行っています。(4)学生のニーズに沿った個別指導を行っています。

各種取り組み

(1)①法科大学院入試前の学習、②法科大学院入試合格後、卒業までの学習について、それぞれの段階に応じた個別指導を行っています。(2)法科大学院入試前は、入試に合格するために必要な知識を深め、論述能力を高める指導を行っています。(3)入試後は、合格者に対し、法律基本科目に関する事例分析能力と論述能力を高めるための入学前の事前学習指導を行っています。

<国立大学>

千葉大学

法政経学部法政経学科法曹コース・プログラム

- 所在地 〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33
- 問合せ先 千葉大学西千葉地区事務部人系学務課学部学務室
TEL:043-290-2350
Mail:bhgakumu@office.chiba-u.jp
- Web <https://www.le.chiba-u.jp/about/housou.html>
- コースの定員 各学年15名(3年次コース在籍者数:14名)
- 連携先の法科大学院 千葉大学大学院専門法務研究科 法務専攻

生きている一人ひとりのために生活者の視点を忘れない法曹の養成

特徴

本プログラムでは、①本学法科大学院(専門法務研究科)の専任教員が、法科大学院での授業を前倒しする内容の授業を開講しています。これらの授業の履修により、法科大学院進学後の学習との接続を目指します。②7法科目については、同プログラム履修生のみを対象とした少人数授業としており、発言しやすい環境が整えられています。③法情報検索・法文書作成の基礎を学ぶ演習授業も開講しています。

各種取り組み

①法政経学部と法科大学院との連携が強く、双方の教員による学生指導を実施しています。②本学法科大学院への進学をスムーズにするため、本プログラム履修生による法科大学院授業の見学会を、実務家教員による実務科目授業を中心に実施しています。③本プログラム履修生の将来をイメージしてもらうため、本学法科大学院を修了した現役弁護士との懇親会を定期的に開催しています。

<私立大学>

学習院大学

法曹コース

- 所在地 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1
- 問合せ先 学習院大学 法学部共同研究室
TEL:03-5992-0365
Mail:law-off@gakushuin.ac.jp

- Web <https://www.gakushuin.ac.jp/univ/law/LPcourse/>

- コースの定員 定員なし(2年次コース在籍者数:14名※令和5年度開設)

- 連携先の法科大学院 学習院大学大学院法務研究科 法務専攻
慶應義塾大学大学院法務研究科 法曹養成専攻
中央大学大学院法務研究科 法務専攻

少人数教育による充実した法曹養成

特徴

法学生であれば誰でも法曹コースに登録できる履修プログラム制です。あらかじめ定められた科目について単位を取得し、一定の成績を得ることで法曹コースの修了資格が得られます。法曹コースの必修科目は、法学部の主要な講義科目です。その他に、法曹志望者のために1・2年生向けの特設演習、3・4年生向けの応用演習を多数開講し、教育内容の充実を図っています。また、学習院大学の法科大学院生と共に学べる共同開講科目も用意しています。

各種取り組み

本学法学部では、キャリア教育の充実を力を入れており、弁護士をはじめ、法学部を卒業して社会の第一線で活躍する方々をお招きして話を聞く機会を数多く設けています。法学部を卒業した学生が社会で活躍する方法はさまざまであり、必ずしも法曹に限られません。法律の知識を活かすことのできるさまざまな職業の可能性のなかから、法曹になるという選択を主体的に選び取り、高いモチベーションをもって勉学に取り組んでもらうことを意図しています。

<私立大学>

上智大学

法曹コース

- 所在地 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
- 問合せ先 上智大学法学部事務局
TEL:03-3238-3231
Mail:faculty-law-co@sophia.ac.jp

- Web <http://www.sophialaw.jp/faculty/env/legal.html>

- コースの定員 各学年30名(3年次コース在籍者数:19名)

- 連携先の法科大学院 上智大学大学院法学研究科 法曹養成専攻

司法試験合格まで5年一貫 少人数できめ細やかな教育

特徴

本学の法曹コースは定員30名程度の少人数制です。法学部・法科大学院の教員と、上智大学法科大学院を修了し実際に司法試験に合格した先輩弁護士が中心となって指導にあたります。顔と名前のわかるクラスメイトと切磋琢磨し、疑問に思ったことはすぐに教員に質問できる環境が整っています。法学部から法科大学院までの一貫した、皆さんの個性に応じたきめ細やかな指導を受けられます。これまでのコース生の大半が司法試験に合格しており、そのほとんどは在学中受験での合格です。

各種取り組み

複数の教員が法学部と法科大学院での指導にあたり、学部から大学院へ切れ目のない指導を実現しています。論文起案の添削指導、正規授業外のバックアップ演習(学部授業の先取り学修)、長期休暇中の科目別集中講義、毎月的小テスト、定期的な模試により、段階に応じた目標設定のもと、学修に専念できる環境を提供しています。学年を超えた法曹コース生どうしの交流会や、司法試験合格者の講演といった企画も定期的に行っています。

<私立大学>

慶應義塾大学

法曹コース

- 所在地 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
- 問合せ先 慶應義塾大学 学生部法学部担当
TEL:03-5427-1557
Mail:mita_hou@info.keio.ac.jp

- Web <https://www.law.keio.ac.jp/law/legalcourse.html>

- コースの定員 定員なし(3年次コース在籍者数:48名)

- 連携先の法科大学院 慶應義塾大学大学院法務研究科 法曹養成専攻

多彩に展開される演習授業で高度の問題解決能力を養成

特徴

法曹コースを他の学部生と区別するコース登録制ではなく、法律学教科カリキュラムの中から指定された科目を履修して単位取得することをもってコース修了を認める、履修プログラム制を採用しています。法曹コースの対象科目のうち最も重要なのが、主要法律科目に関する法曹志望者のための専門演習であり、1~3年の各段階(法務演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)において多彩に展開されています。

各種取り組み

法曹コース指定科目については法科大学院教員も多く担当しており、法曹養成に向けた法学部・法科大学院間の連携を深めています。また、指定科目以外にも多種多様な科目を履修できるため、専門的知見の幅を広げ、法曹としての付加価値を高めることができます。自身がとくに関心を寄せる分野については、ゼミナールを専攻することで、教員や法曹コース以外の学生との親密な交流も図れます。

<私立大学>

専修大学

法学部法律学科法曹コース

- 所在地 〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8
- 問合せ先 専修大学 教務課法学部担当
TEL:03-3265-3821
Mail:jkyomu@acc.senshu-u.ac.jp

- Web <https://www.senshu-u.ac.jp/education/faculty/law/>

- コースの定員 各学年15名(3年次コース在籍者数:7名)

- 連携先の法科大学院 専修大学大学院法務研究科 法務専攻

法学部・法科大学院の強力な連携の下、少人数で充実した学修指導

特徴

本学の法曹コースは、各学年の定員が15名と少人数での運営となっています。法曹コースの多くの必修科目は、実際に法科大学院で未修者向けの授業を担当している法科大学院専任教員によって、法曹コース対象者のみが受講できる科目として開講しており、少人数ならではのきめ細かい指導で、法科大学院における学修と円滑に接続するために必要な基礎的な学識及び能力を修得することが可能です。

各種取り組み

各学期の終了時点で、学修状況の把握や課題発見のためのアンケートを実施し、早期卒業や勉学全体に対する不安や疑問を解決する指導教員制度を導入しています。また、法科大学院生が利用可能なキャンセルも使用でき、アカデミック・アドバイザー制度を通じて勉学上の疑問点等について弁護士に相談できるなど、日々、勉学に励む環境も整っています。授業運営においても、授業担当教員による意見交換を実施し、毎年度ブラッシュアップされた指導がなされるように工夫しています。

<私立大学>

創価大学

グローバル・ロイヤーズ・プログラム
(Global Lawyers Program)

●所在地 〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236
●問合せ先 創価大学法学部・法科大学院事務室
TEL:042-691-9476
Mail:hogakubu@soka.ac.jp

●Web <https://www.soka.ac.jp/law/course/legal/glp/>

●コースの定員 各学年25名(3年次コース在籍者数:21名)

●連携先の法科大学院 創価大学大学院法務研究科 法務専攻

実践的な教育と重層的な個別指導で多くの司法試験合格者を輩出

特徴

法学部に法曹養成を目指したGlobal Lawyers Program(GLP)を2014年度に開設し、2020年に法曹コースとして認定。創価大学法科大学院の既修者コース等への進学に特化したプログラムです。法律家としての知識と能力を修得することによって、国際的視野と人権感覚をもち、問題解決のために法を活かして人々に尽くし行動できる法律家を育成します。

各種取り組み

法律実務家による演習やチュートリアル、キャリア意識発揚のための講演会や懇談会等を実施しています。読解力や論述能力を養成するゼミも充実。教員や弁護士チューターの個別指導で学修をサポート。創価大学法科大学院授業の先行履修が可能で、入学後単位認定します。法科大学院入試やカリキュラム説明会を実施。2020年以降GLPから創価大学法科大学院を経た司法試験合格者を輩出しています。

<国立大学>

東京大学

法科大学院進学プログラム

●所在地 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
●問合せ先 東京大学法学部学部チーム
TEL:03-5841-3109
Mail:gakubu.j@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

●Web <https://www.j.u-tokyo.ac.jp/undergraduate/>

●コースの定員 定員なし(3年次コース在籍者数:137名)

●連携先の法科大学院 東京大学大学院法学政治学研究所 法曹養成専攻

高度な法学部教育の一環としてのプログラム

特徴

法科大学院進学プログラムは、東京大学法学部の学生であれば誰でも登録することができる履修プログラムです。法学部のほとんど全ての専任教員は法科大学院の授業を担当しており、全体で統一した教育効果が上がるような授業を行っています。法科大学院進学プログラムの登録者は、法科大学院の入試において特別枠に応募することができます。早期卒業制度の利用も可能です。

各種取り組み

法科大学院進学プログラムでは、少人数での演習や若手弁護士が担当する民法基礎演習が必修となっているなど、最先端の知見や実務に接しながら学ぶことができます。法科大学院進学プログラムの登録者であって東京大学法科大学院の入試に合格したもののうち学業成績が特に優秀な学生には、東京大学法科大学院の入学料とほぼ同額を支給する進学奨励金制度が設けられています。

<私立大学>

中央大学

法学部法律学科法曹コース(一貫教育プログラム)

●所在地 〒112-8631 東京都文京区大塚1-4-1
●問合せ先 中央大学法学部
TEL:03-5978-4141
Mail:law-toiwase-grp@g.chuo-u.ac.jp

●Web <https://www.chuo-u.ac.jp/academics/faculties/law/>

●コースの定員 定員なし(3年次コース在籍者数:78名)

●連携先の法科大学院 中央大学大学院法務研究科 法務専攻

中央大学ロースクールとの一貫教育を強化し、新時代の法曹養成へ

特徴

基本七法については、基礎から発展へと段階的に学修を進められるようカリキュラムを組み、発展科目には、中央大学ロースクールの教員が重要論点に関して講義し、それを受けて実務家教員が少人数のゼミ形式で指導する授業を置いています。これにより、法律の基礎的な運用能力を育み、ロースクールでの教育との接続を図っています。このような一貫型教育により、社会で生じる複雑かつ多彩な利害の対立を的確に分析し、解決へ導く法曹人材を育成します。

各種取り組み

数多くの法曹を輩出してきた強みを活かし、OB・OGの現役法曹が担当する講義科目(「法曹論」)・演習科目(「法曹演習」「法曹特講」)を用意しています。こうした授業を通じて、現実に生じる社会問題や法曹が果たすべき役割を意識しながら学修を進めることができます。また、企業や法律事務所等でのインターンシップに学生が積極的に参加できる環境を整えています。学内の給付型奨学金制度も充実しており、法曹志望者を経済的にも支援しています。

<公立大学>

東京都立大学

法学部法学科法律学コース・法曹養成プログラム

●所在地 〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1
●問合せ先 東京都立大学管理部文系学務課法学部教務係
TEL:042-677-1111(代表)
Mail:hogaku-kyoumu@jtmj.tmu.ac.jp

●Web <https://www.law.tmu.ac.jp/academics/faculty.html>

●コースの定員 各学年20名(3年次コース在籍者数:14名)

●連携先の法科大学院 東京都立大学大学院 法学政治学研究所法曹養成専攻

個性に応じた柔軟かつきめ細かな指導で充実した学修を支援します

特徴

少人数教育を実践してきた伝統を踏まえ、法律基本科目の体系的かつ段階的な学修により法科大学院進学後の司法試験早期合格のための基礎的能力を涵養するのみならず、政治学分野も含めた幅広い選択科目の履修により、ひとりひとりの関心に応じた多様な学びを実現します。また、担当教員による面談や相談の機会を多く設けており、日々の学修や進路選択をサポートします。

各種取り組み

成績を中心に一人一人の学修状況を定期的に確認し、学生の個性に応じた個別の学修指導をしています。また、コースガイダンス、法科大学院進学説明会やOBOGによる講演会等、学修や進路選択のための情報を得る機会を豊富に用意するとともに、教員に相談したい学生が気軽に相談できる機会を設けるなど、少人数教育のよき伝統をいかし、個々人に応じたきめ細かい学修支援を行っています。

<私立大学>

日本大学

法曹コース

●所在地 〒101-8375 東京都千代田区神田三崎町2丁目3番1号
 ●問合せ先 法学部教務課
 TEL: 03-5275-8502
 Mail: kyomu.law@nihon-u.ac.jp

●Web <https://www.law.nihon-u.ac.jp/course/law.html>

●コースの定員 定員なし(3年次コース在籍者数:24名)

●連携先の法科大学院 日本大学大学院法務研究科 法務専攻

「司法の日大」の伝統と融合した法曹コース

特徴

日大法学部5学科の1つである法律学科に、法曹を目指す学生のみを集めた法曹コースを新設し、コース専用の授業を多く設けて少人数教育を行っています。また、「司法の日大」と呼ばれる原動力となった司法試験の受験指導組織として「司法科研究室」があり、各種の答案練習会のほか、本学出身弁護士によるグループゼミが組まれ、1年次より段階的・実践的な受験指導が行われます。

各種取り組み

法曹コースの授業の一部を、連携先である日大ロースクールの専任教員が担当しているほか、法曹コースの学生が日大ロースクールの授業の一部を早期履修できる制度も用意しています。また、法曹コースに学修指導教員を配置し、適宜履修指導を行う仕組みをとっています。

<私立大学>

法政大学

法学部法律学科法曹コース

●所在地 〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
 ●問合せ先 法学部事務室
 TEL:03-3264-9323
 Mail:jhou@hosei.ac.jp

●Web <https://www.hosei.ac.jp/hogaku/gakka/horitsu/housou/>

●コースの定員 各学年20名(3年次コース在籍者数:14名)

●連携先の法科大学院 法政大学大学院法務研究科 法務専攻

法学部・法科大学院教員の強力な連携の下、充実した学修指導

特徴

法学部を早期卒業して法科大学院進学を目指す学生に向けて、法曹コース特設科目において少人数かつ双方向の授業を提供しています。そのカリキュラムは、法学部教員と法科大学院教員との綿密な協力関係のもとに設計・実施され、基本的な法制度の体系的理解を図りつつ、法科大学院との接続を意識した判例分析や文章起案をとり入れるなど、基礎から応用へを意識した学生指導を行っています。

各種取り組み

法曹コースの厳しいカリキュラムを乗り越えるために必要な学習姿勢・学習スキル等のガイダンスを行っています。また、各クラスにつき担任制を設け、他の教員との仲介役も兼ねて、学習や進学等に関する個別の相談をしやすい環境が整えられています。広い視野を得るために学部的一般ゼミへの参加も認めるなど、法科大学院・法学部が一体として学生を支援する体制を用意しています。

<国立大学>

一橋大学

法学部法曹コース

●所在地 〒186-8601 東京都国立市中2-1
 ●問合せ先 法学部・法学研究科事務室
 TEL.042-580-8204
 Mail: law-km.g@ad.hit-u.ac.jp

●Web <https://www.law.hit-u.ac.jp/faculty/lawyer/>

●コースの定員 各学年30名程度(3年次コース在籍者数:33名)

●連携先の法科大学院 一橋大学大学院法学研究科 法務専攻

体系的な学習と幅広い関心の涵養を通じて法曹としての礎を築く

特徴

3年での早期卒業により、最短5年で司法修習生になることを可能とする途を提供する一方で、学部4年間に在籍し、幅広い学習や多様な経験を経て法科大学院に進学する選択肢も提示しています。法律専門科目の体系的学習を確保するためのカリキュラムと合わせて、一橋大学法科大学院を修了し第一線で活躍する弁護士らが学生の学修を支援し、将来法曹として活躍するための基礎を築きます。

各種取り組み

法曹コース固有の必修科目「法律実務入門」では、法律文書作成の基礎を学ぶほか、様々な分野で活躍する法曹の講演や、法律事務所訪問・裁判傍聴等の体験を通じて、法曹のキャリアについても考えます。また、一橋大学法科大学院を修了した弁護士による課外ゼミも実施しています。一橋大学法科大学院で開講される所定の科目を先行履修し、大学院入学後の修得単位に算入することも可能です。

<私立大学>

明治大学

法学部法律学科法曹コースにおける『一貫教育プログラム』

●所在地 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
 ●問合せ先 明治大学法学部事務室
 TEL:03-3296-4152
 Mail:hogaku@mics.meiji.ac.jp

●Web <https://www.meiji.ac.jp/hogaku/course/bar.html>

●コースの定員 各学年80名(3年次コース在籍者数:96名)

●連携先の法科大学院 慶應義塾大学大学院法務研究科 法曹養成専攻
 中央大学大学院法務研究科 法務専攻
 明治大学専門職大学院法務研究科 法務専攻

「権利自由、独立自治」の精神に基づく「個」を尊重する法曹養成

特徴

5つのコース制を採用し、「法曹コース」を選択した学生は、2年次より同コース内に設置された『一貫教育プログラム』修了を目指すことができ、法学部と法科大学院の教員が授業を担当する「法曹コース用」科目(民事訴訟法、刑事訴訟法、会社法、司法演習など)を履修することができます。これにより、明治大学では、法曹養成を念頭においた、法科大学院と連携した一貫教育を実現しています。

各種取り組み

明治大学法科大学院進学希望者は、「先取り履修制度」により、学部在学中から法科大学院の授業が履修可能です。修得した単位は学部卒業単位にはなりません。法科大学院進学後に修了要件単位として認定されるので、授業負担が軽減し、司法試験に向けた学習時間を確保できます。また、国家試験指導センター(法制研究所)の各種講座も充実しており、法曹を目指す学生を支援しています。

<私立大学>

明治学院大学

明治学院大学法学部法律学科法曹コース

- 所在地 〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37
- 問合せ先 明治学院大学法学部法律科学研究所
TEL:03-5421-5209
Mail:lri@law.meijigakuin.ac.jp
- Web https://mgulaw.jp/dept/ju/specialty/#anc_top
- コースの定員 各学年30名(3年次コース在籍者数:13名)

- 連携先の法科大学院 千葉大学大学院専門法務研究科 法務専攻
慶應義塾大学大学院法務研究科 法曹養成専攻
中央大学大学院法務研究科 法務専攻
東京都立大学大学院 法学政治学研究所法曹養成専攻
明治大学専門職大学院法務研究科 法務専攻
早稲田大学大学院法学研究科 法曹養成専攻

法曹への道 - 明治学院の親身なサポートで
スタートダッシュ!

特徴

一人ひとりの個性を尊重したきめ細かい指導と少人数教育の徹底が特徴です。学期毎の個別指導面談、学生一人に二人の学習指導教員配置、学習進度に応じた学修補完と発展のための課外講座(論述答練・短答対策講座等)設置など、段階的かつ丁寧・着実な学修の仕組みを整えています。法律学科の優秀層の学生が切磋琢磨する環境、熱心な教員の後押しも大きな特色です。国公・私立の6有力法科大学院と連携していることも大きな魅力です。

各種取り組み

法曹像をイメージさせる1年次導入演習を起点に、基本六法+行政法などを段階的に学修できる教育体制を整備しています。また、休暇中の課外講座実施や、連携先法科大学院教員による演習・連携先法科大学院開設の課外講座参加奨励も行っています。その他、学期毎の学習指導教員による面談、随時の学習・進路相談などのサポートとともに、卒業生法曹による実務家講演会を開催しております。

<私立大学>

早稲田大学

法学部法曹コース

- 所在地 〒169-8050 新宿区西早稲田1-6-1
- 問合せ先 早稲田大学法学部法務事務所
TEL:03-3232-4534
Mail:law-students@list.waseda.jp
- Web https://www.waseda.jp/foaw/law/students/law_pro/
- コースの定員 定員なし(3年次コース在籍者数:156名)
- 連携先の法科大学院 早稲田大学大学院法学研究科 法曹養成専攻

体系的な知識の修得と応用力の養成、課外プログラムで法曹体験

特徴

法科大学院進学と、ひいては司法試験の法科大学院在学中受験に向けて、基礎的な知識を体系的に修得できます。1年生から実務法曹による業務内容や社会と法との関わり方を直接に学ぶ科目や、法的思考力と文章表現力を養う演習も用意されています。コースの中心となる応用科目の多くは法科大学院の教員が担当し、具体的な事案を分析した上で議論できる実践的な応用力の獲得を目指します。

各種取り組み

0B・0Gの実務法曹から業務の様子や学生時代のお話をうかがう交流企画、実際の事件を題材に弁護士が解説するゼミなど、座学から模擬裁判に至るまで、法曹実務を体験できる講座を開催しています。授業期間中には、大学院生が幅広く学修に関する質問を受け付けアドバイスを行う相談室を開設しており、さらに、本学法科大学院が実施する答案添削等の指導を受ける機会もあります。

<私立大学>

立教大学

法学部法学科法曹コース

- 所在地 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1
- 問合せ先 立教大学教務部学部事務2課 法学部担当
TEL:03-3985-2544
Mail:hon-jimu@rikkyo.ac.jp
- Web <https://lp.rikkyo.ac.jp/>
- コースの定員 各学年20名(3年次コース在籍者数:16名)

- 連携先の法科大学院 慶應義塾大学大学院法務研究科 法曹養成専攻
中央大学大学院法務研究科 法務専攻
早稲田大学大学院法学研究科法曹養成専攻

高い意識をもつ仲間とともに、法曹への最短
コースを歩もう!

特徴

立教大学法学部の法曹コースでは、三大私立法科大学院(慶應義塾・中央・早稲田)の各法科大学院)と法曹養成連携協定を締結し、これらの法科大学院にペーパーテストなしで進学する可能性を確保しています。また、法曹コース生の司法試験受験に向けた実践的な学修を強力にサポートするため、主要な法分野に関する「発展演習」を展開するなど、魅力的な授業を多数用意しています。

各種取り組み

立教大学法学部の法曹コースでは、前述した「発展演習」を展開し、起案指導等、通常の授業では困難な実践的・実務的教育を実施しています。また、本学卒業生の法曹実務家とも連携しながら、情報交換や答案練習の機会を数多く提供するなど、法曹を目指すにあたって必要なサポートを行っています。さらに、すべての専任教員が毎週オフィスアワーを設け、法曹コース生からの学修にかかわる相談に対し、個別に綿密な指導や助言を提供する体制をとっています。

<国立大学>

新潟大学

法学部 法曹養成プログラム

- 所在地 〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地
- 問合せ先 法学部学務係
TEL:025-262-6283
Mail:gakumu2@jura.niigata-u.ac.jp
- Web <https://www.jura.niigata-u.ac.jp/~law-web/>
- コースの定員 定員なし(3年次コース在籍者数:21名)

- 連携先の法科大学院 東北大学大学院法学研究科 総合法制専攻
慶應義塾大学大学院法務研究科 法曹養成専攻
中央大学大学院法務研究科 法務専攻
神戸大学大学院法学研究科 実務法律専攻

法曹に必要な基礎力・問題発見力・応用力を
修得する充実した支援体制

特徴

学生と教員の距離が非常に近く、現役の弁護士や司法試験合格者を含む教授陣が、ていねいで親身な個別指導により学修を全面的に支援します。クラス担任や科目担当の教員には常時気軽に相談できるのが強みです。また、進路相談会や講演会では司法試験合格者や法科大学院進学者の経験談を聞くことができます。法曹コース学生専用の自習室もあり、落ち着いた環境で勉強することができます。

各種取り組み

連携先法科大学院の教員による特殊講義「リーガル・プロフェッション」では、法科大学院での学修の様子や必要な心構え等を知り、モチベーションを高めることができます。実務家教員による論文指導、ゼミ形式の判例演習など、実務を意識した授業も充実しており、勉強の仕方や受験に関するアドバイス等、きめ細やかな助言・相談を行っています。

<国立大学>

金沢大学

法曹養成プログラム

- 所在地 〒920-1192 石川県金沢市角間町
- 問合せ先 金沢大学人社系事務部学生課教務・学生係支援担当
TEL:076-264-5603
Mail:n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp
- Web <https://law.w3.kanazawa-u.ac.jp/home/about/legalprofession>
- コースの定員 各学年30名(3年次コース在籍者数:18名)
- 連携先の法科大学院 金沢大学大学院法学研究科 法務専攻

地域に根差し世界に羽ばたく法曹の養成

特徴

法曹養成プログラム(法曹コース)は法曹を志望する学生が総合法学コースに所属し、法学類と法科大学院との体系的・一貫的教育を受けるプログラムです。基本7法(憲法・行政法・民法・商法・民事訴訟法・刑法・刑事訴訟法)を学修するほか、「法曹実務」、「リーガルライティング」等、法科大学院の教員や弁護士等による授業を通して実践的な勉強もできます。

各種取り組み

法科大学院の教員や地元の弁護士等が「法曹実務」、「入門コースクール」、「特講(民事実務入門)」の講義を提供しています。法曹養成プログラムに関する説明会、個別相談会なども実施しています。また、法曹養成プログラムを修了し、金沢大学法科大学院の特別選抜に合格した者は入学検定料、入学金、2年間の授業料等についての経済支援が受けられます。

<私立大学>

愛知大学

法科大学院連携コース

- 所在地 〒453-8777 名古屋市千種区平池町4-60-6(法科大学院連携コース)
〒461-8641 名古屋市東区筒井2-10-31(法科大学院)
- 問合せ先 名古屋教務課 法科大学院連携コース担当
TEL:052-564-6112
Mail:nkyomu@aichi-u.ac.jp
- Web https://www.aichi-u.ac.jp/lawschool/legal_course
- コースの定員 各学年5名(3年次コース在籍者数:1名)
- 連携先の法科大学院 愛知大学大学院法務研究科 法務専攻

全国屈指の合格力を誇る愛知大学法科大学院での学びを学部から

特徴

全国有数の合格実績を誇る本学法科大学院と連携したコースとして開設。学部2年次より、学部所属しながら、法科大学院の授業を直接受講することで、高度な専門知識や論理的思考力を早い段階から効果的に身に付けることができ、かつ、法科大学院進学後とも連続した学習を実現しています。

各種取り組み

学部生の間から、法科大学院の授業を受講できることが本コースの特徴です。授業担当の法科大学院の教員からアドバイスやサポートを受けられます。この他、弁護士のチューターによるフォロー、法学部の本コース担当教員による履修指導や相談も実施しています。さらに、専用の自習用スペース・ロッカーも利用でき、一人一台PCが貸与されるなど、法科大学院所属の学生に準じた環境で、勉学に取り組むことができます。

<国立大学>

信州大学

経法学部総合法律学科法曹養成プログラム

- 所在地 〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
- 問合せ先 信州大学経法学部学務グループ
TEL:0263-37-2304
Mail:k_gakumu@shinshu-u.ac.jp
- Web <https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/econlaw/index.php>
- コースの定員 各学年10名(3年次コース在籍者数:5名)
- 連携先の法科大学院 慶應義塾大学大学院法務研究科 法曹養成専攻
中央大学大学院法務研究科 法務専攻
東京都立大学大学院法政政治学研究所 法曹養成専攻

法務実習科目と実務家による講義が充実

特徴

実務における問題意識やその解決方法を学び、身に付けた理論や分析手法の知識を現場で活用し実践する能力を養成するための法務実習科目を必修としています。法務実習では、法曹関係者の指導を受けながら模擬捜査や模擬裁判を行い、実務との架橋を意識した教育をうけることができます。また、裁判官、検察官、弁護士等による講義が充実しており、実務の最前線に触れる機会を提供します。

各種取り組み

協定先法科大学院の教員が担当する演習では、各基幹科目の論文式問題などを素材として法文書作成の指導を実施しています。令和4年度には連携協定校の拡大に向けた取り組みを行い、東京都立大学法科大学院と法曹養成連携協定を締結しました。法曹プログラムの学生が適切な学習計画をたてられるように、教員に履修相談できる場を提供しています。また、定期的に個別面談を行っています。

<国立大学>

名古屋大学

法曹コース

- 所在地 〒464-8601 愛知県名古屋千種区不老町
- 問合せ先 名古屋大学文系教務課
TEL:052-789-2317
Mail:law-kyomu@mail.nagoya-u.ac.jp
- Web <https://www.law.nagoya-u.ac.jp/faculty-of-law-graduate-school/hoso.html>
- コースの定員 各学年20名(3年次コース在籍者数:37名)
- 連携先の法科大学院 名古屋大学大学院法学研究科 実務法曹養成専攻

法科大学院専任教員と実務家教員による特殊講義と学修環境が充実

特徴

3年早期卒業(2024年度からは4年修了制度も導入)と特別選抜入試を経由した法科大学院進学を前提として、法律基本科目を中心に効率よく学修できるカリキュラムを立っています。法曹コース特殊講義では、(1)法科大学院専任教員が事例問題を素材とした演習授業を行って論述能力を涵養し、(2)実務家教員が自らが担当した事件を素材に事件の発生から解決までの流れを解説するなど、実務を強く意識した授業を行っています。

各種取り組み

法曹コースにおける学修を積極的に支援するため、学年別説明会(授業履修等ガイダンス)の開催、法曹コース専用自習室の提供、法科大学院教育支援システムIDの付与(各種法律情報データベースの利用提供)といった取り組みを行っています。また、法曹コース在学中に共同開講科目等の履修によって法科大学院の単位の修得を認めることで法科大学院教育とのスムーズな接続を図っています。

<国立大学>

京都大学

法学部法曹基礎プログラム

●所在地 〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町
 ●問合せ先 法学部教務掛
 TEL:075-753-3107
 Mail:kyomu031@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

●Web https://law.kyoto-u.ac.jp/undergraduate/about/kiso_program/

●コースの定員 定員なし(3年次コース在籍者数:49名)

●連携先の法科大学院 京都大学大学院法学研究科 法曹養成専攻

法科大学院との緊密な連携により、理論と実務を深く学修できる

特徴

法曹を志望する者が、法学部での学業成績と口述試験等に基づく特別選抜により法科大学院に進学することができるよう、本学法科大学院の教育課程と連携して、法曹基礎プログラムを提供しています。この法曹基礎プログラムでは、必修科目及び選択必修科目などが定められ、専門科目を段階的かつ効果的に履修できるよう配慮されており、修了者には優秀な成績を修めることが求められています。

各種取り組み

本学法科大学院の教員が学部授業や共通授業を提供し、専門科目の基礎を体系的に学ぶことができます。また、必修科目である演習も提供しているので、少人数教育を通じて、法科大学院の教員から親しく学修指導を受けることができます。さらに、裁判官など実務経験のある教員の授業では、裁判の実際や実務の面白さ、奥深さに触れることができ、学部生の法曹への関心を高めています。

<私立大学>

立命館大学

法学部法曹進路プログラム

●所在地 〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町56-1
 ●問合せ先 立命館大学法学部事務室
 TEL:075-465-8175
 Mail:law@st.ritsumeimei.ac.jp

●Web <https://www.ritsumeimei.ac.jp/law/education/housou/>

●コースの定員 定員なし(3年次コース在籍者数:57名)

●連携先の法科大学院 中央大学大学院法務研究科 法務専攻
 名古屋大学大学院法学研究科 実務法曹養成専攻
 立命館大学大学院法務研究科 法曹養成専攻
 神戸大学大学院法学研究科 実務法律専攻

未来の法曹を育てる手厚い支援と緊密な連携

特徴

立命館大学では、2年生から所属する司法特修に、法曹進路プログラムを設置しています。法曹進路プログラムには、少人数、双方向型の授業を配置し、その多くを立命館大学法科大学院所属教員が担当しています。学部生の段階から、専門的、実践的な学修が可能です。立命館大学法科大学院以外にも、中央大学、名古屋大学、神戸大学と連携協定を締結し、多様な進路実現を応援しています。

各種取り組み

学部を3年間で卒業し、法科大学院を目指す早期卒業候補学生に対して、アカデミック・アドバイザーを配置し、学期ごとの中間審査など、丁寧な学修指導を行っています。また、2年生以降の各学期に法曹進路プログラムの登録時期を設け、個々の学生の進路希望に対応しています。さらに、課外でのエクステンションセンターでは、答案作成ゼミなど、正課授業と連携した支援も行っています。

<私立大学>

同志社大学

法学部法律学科法曹養成プログラム

●所在地 〒602-8580 京都府京都市上京区今出川通烏丸東入
 ●問合せ先 法学部・法学研究科事務室
 TEL:075-251-3511
 Mail:ji-houj@mail.doshisha.ac.jp

●Web <https://law.doshisha.ac.jp/>

●コースの定員 定員なし(3年次コース在籍者数:約30名)

●連携先の法科大学院 同志社大学大学院司法研究科 法務専攻
 神戸大学大学院法学研究科 実務法律専攻

思い立ったとき、それがチャレンジの始まり

特徴

同志社大学大学院司法研究科および神戸大学(大学院法学研究科実務法律専攻)との間で法曹養成連携協定を締結しています。特別なエントリーが必要でないプログラム制で、とくに1・2年次に履修すべき科目の多くは一般科目であるため、進路変更にも柔軟に対応することができます。他方で、3年次に履修する司法特講は少人数の独自科目であり、密度の濃い指導を受けることができます。

各種取り組み

プログラム科目の一部を連携先の法科大学院の教員が担当しています。また、プログラム外の科目として、1年次から履修可能な「答案作成ゼミナール」があり、事例問題の検討方法等を早くから学ぶことができます。さらに、課外講座である「法職講座」では、実務家の講演会や予備試験・司法試験の合格者の座談会を開催するほか、地方裁判所や家庭裁判所の見学も実施しています。

<国立大学>

大阪大学

法学部連携法曹基礎課程

●所在地 〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-6
 ●問合せ先 法学研究科教務係
 TEL:06-6850-5145
 Mail:hokou-hougakukyomu@office.osaka-u.ac.jp

●Web https://www.law.osaka-u.ac.jp/undergraduate/legal_profession.html

●コースの定員 2年次 30名程度、3年次 20名程度
 4年次 教授会にて定めた人数
 (3年次コース在籍者数:26名)

●連携先の法科大学院 大阪大学大学院高等司法研究科 法務専攻

少人数教育の重視、法曹を意識した多様な学びの機会の提供

特徴

少人数教育を重視して1年生から演習科目が提供されており、そこで条文や判例の読み方の基礎を学んだり、事例問題の演習を行うこともできます。必修科目の中には法科大学院所属の教員が担当するものもあり、法科大学院での経験を活かして授業を行っています。演習の担当教員がアドバイザー教員を兼ねているため、教員との距離が近い中できめ細かい学修指導を受けられることも特長です。

各種取り組み

2年生以上を対象に、弁護士等がオムニバス形式で行う授業を開講しており、法曹実務の現状を具体的に知ることができます。外部から講師を招いて多様なテーマで講演会も開催しており、様々な法的問題に対して関心を高めることもできます。また、法曹コースの学生が大阪大学法科大学院の授業を受けられる仕組みもあり、法科大学院の密度の濃い授業を早くから体験することも可能です。

<公立大学>

大阪公立大学

法曹養成プログラム

●所在地 (杉本キャンパス) 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
 ●問合せ先 法学部教務担当
 TEL:06-6605-2303
 Mail:gr-kyik-law@omu.ac.jp

●Web <https://www.omu.ac.jp/law/undergraduate/about/>

●コースの定員 各学年20名(3年次コース在籍者数:3名)

●連携先の法科大学院 大阪公立(市立)大学大学院 法学研究科法曹養成専攻

国内屈指の研究者・実務家による少人数教育とサポート体制が充実

特徴

大阪公立大学法科大学院は、高度な法的能力を備えた「真のプロフェッション」の養成を目指し、これまで数多くの司法試験合格者を輩出しています。この伝統を継承しつつ、早期卒業を視野に入れた「法曹コース」を導入し、学部と法科大学院との連携をはかっています。国内屈指の研究者と実務家の教員集団による少人数教育と充実した学習支援を通じて効果的な法曹養成教育を実施しています。

各種取り組み

法曹コースでの学修を充実させるため、連携する法科大学院と学部とが共同開講する授業を行っています。また、法曹コース登録者は、基礎法学・隣接科目及び司法試験選択科目を先行履修することができます。さらに、法曹コースでの学修支援として、学部ゼミの指導教員、法科大学院教員、事務職員が法曹コース登録者と面談を行い、学修相談・支援、学修状況に応じた個別指導を行っています。

<私立大学>

関西大学

法学部法学政治学科法曹コース

●所在地 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
 ●問合せ先 教務事務グループ
 TEL:06-6368-1121
 Mail:houl@ml.kandai.jp

●Web https://www.kansai-u.ac.jp/Fc_law/faculty/curriculum/lawyer.html

●コースの定員 各年度50名(3年次コース在籍者数:53名)

●連携先の法科大学院 関西大学大学院法務研究科 法曹養成専攻

丁寧な少人数教育・法科大学院との連携による充実した学修指導

特徴

演習科目を中心に法科大学院実務家教員から、進学後を視野に入れたきめ細かな指導を受けることができるのが最大の特徴です。法科大学院教員の指導のもと、判例に関する報告・討論、法律文書の作成等を重点的に行うことで、実務に必要なリーガルマインドを養うことができます。また、若手08弁護士による課外授業や自習室の使用等、法科大学院による強力なバックアップも特徴の一つです。

各種取り組み

08弁護士の法律事務所へのインターンシップや懇談会の実施、実務家によるオムニバス形式の授業の開講等、実務に触れる機会が多く設けられ、進路実現へのモチベーション向上につながります。また、学部在学中に法科大学院授業科目を先取履修し、修得した科目を進学後に既修得科目として単位認定することで、司法試験合格に向けてより効率的に学修を進めることができます。

<私立大学>

近畿大学

法学部法律学科法曹コース

●所在地 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1
 ●問合せ先 近畿大学法学部学生センター
 TEL:06-4307-3041
 Mail:houl-kym@itp.kindai.ac.jp

●Web <https://www.kindai.ac.jp/law/department/about/>

●コースの定員 各学年30名(2年次コース在籍者数:16名※令和5年度開設)

●連携先の法科大学院 神戸大学大学院法学研究科 実務法律専攻

未来の法曹を育成する少人数教育を重視した学修サポート体制が充実

特徴

連携法科大学院とともに法曹養成のための一貫教育を、法曹コースとして設置しています。同コースは2年次から開始し、少人数教育での高度な法律知識の習得をめざす特別なカリキュラムを設定しています。なお、法曹コースへの所属方法は、1年次から2年次への進級時、選考が行われます。

各種取り組み

法曹コースの学生は、進級要件や早期卒業要件について、高いハードルが課されています。このため、法曹コースの担当教員が、各学生の学修状況や進路動向等を把握し、適切かつきめ細やかな履修指導を行っています。さらに、連携協定を結ぶ法科大学院の進学を意識したカリキュラムが編成され、法科大学院での学びや司法試験、法曹の仕事等を理解できます。

<私立大学>

関西学院大学

法曹養成連携プログラム

●所在地 〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
 ●問合せ先 関西学院大学法学部
 TEL:0798-54-6203
 Mail:grp_law_contact@kwansei.ac.jp

●Web https://www2.kwansei.ac.jp/s_law/course2021/

●コースの定員 各学年50名(3年次コース在籍者数:40名)

●連携先の法科大学院 関西学院大学大学院司法研究科

法的思考や文書の作成など法曹になるために必要な高い能力を徹底的に養う

特徴

本プログラムは、法学部入学から最短5年での司法試験合格を目標としています。高度な法律知識の習得に加え、きめ細かな実践的指導により、法曹として働くうえで必要不可欠な価値観や判断力を養います。授業では双方向のやり取りが多く、小テストや中間試験も実施。学生の理解度を確認しながら授業を進め、勉学へのモチベーションを高めます。学生と教員の距離が近く、個々のレベルに応じた指導が可能です。

各種取り組み

定期的な学修相談会や、担当教員による個別相談窓口の設置により、気軽に悩みや相談に答えられる体制を整えています。また、同プログラム履修生が在籍する「特修コース」は、法曹、企業法務、公務の3分野から構成されています。法曹を目指す学生は、基本は法曹分野の授業を履修しますが近年法曹の需要が高まる公務、企業法務分野の授業についても広く学ぶことができます。

<国立大学>

神戸大学

法科大学院進学プログラム（法曹コース）

- 所在地 〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1
- 問合せ先 神戸大学法学部教務グループ
TEL:078-803-7234
Mail:law-kyomu-gakubu@office.kobe-u.ac.jp
- Web https://www.law.kobe-u.ac.jp/ungr/legal_profession.html
- コースの定員 各学年40名程度（3年次コース在籍者数：39名）
- 連携先の法科大学院 神戸大学大学院法学研究科 実務法律専攻

法科大学院へのシームレスな橋渡し、手厚い学修・進路サポート

特徴

学部3年次早期卒業から法科大学院に進学する3+2はもちろん、通常通り学部を4年で卒業して法科大学院に進学する4+2にも対応できるように、カリキュラムを組んでいます。大教室の授業で基礎力を固め、少人数の応用法律科目で事例演習や文書作成演習を行います。教授陣のほとんどは法科大学院でも授業を担当しており、法学部から法科大学院への橋渡しを意識して授業を行っています。

各種取り組み

法曹コース登録者には法律基本科目7法の勉強方法とおすすめの参考書を掲載した「学習の手引き」を配布するとともに、法曹コース担当教員によるガイダンスや法曹コース修了者との交流会を実施し、学修を効果的に進めていくためのサポートを行っています。弁護士による授業を開講したり、検察官による出前授業などを随時開催したりするなど、進路選択に関する情報も提供しています。

<国立大学>

広島大学

法曹養成プログラム

- 所在地 〒730-0053 広島県広島市中区東千田町1-1-89
- 問合せ先 広島大学東千田地区支援室
TEL:082-542-7057
Mail:senda-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp
- Web https://www.hiroshima-u.ac.jp/prog/program/syusenkou/haipuro_hou/legalprofessiontrainingcourse
- コースの定員 定員なし（3年次コース在籍者数：24名）
- 連携先の法科大学院 広島大学大学院 人間社会科学研究科実務法学専攻

人文社会科学系の新たな拠点で法曹養成教育の質を高めます

特徴

学修相談・支援、及び個別指導を担当するチューター教員を複数名（法曹コースを置く学部から1名、連携法科大学院から1名）配置する体制をとっています。連携法科大学院の教員や、弁護士、司法書士、及び行政機関での実務家、または実務経験を有する者が担当する科目を多く開講し、学修と実社会での活躍の接続性を持たせ、学びの動機付け、理由付けにつながるものとしています。

各種取り組み

連携法科大学院との連携強化、学生と企業・行政との交流促進を図るため、法曹コースを置く法学部法学科昼間コースを令和5年3月に東広島キャンパス（東広島市）から連携法科大学院のある東千田キャンパス（広島市）に移転しました。今後も「法曹養成を核とした人文社会科学系の新たな拠点」の形成を進めていきます。

<国立大学>

岡山大学

法曹プログラム

- 所在地 〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中3-1-1
- 問合せ先 岡山大学法学部教務学生グループ
TEL:086-251-7364
Mail:g997363@adm.okayama-u.ac.jp
- Web https://www.okayama-u.ac.jp/user/law/examinee/law_legal_profession.html
- コースの定員 各学年40名（3年次コース在籍者数：20名）
- 連携先の法科大学院 岡山大学大学院法務研究科 法務専攻

出身者が高い合格実績を誇る法学部による中四国初の法曹コース

特徴

岡山大学法学部は、これまで本法科大学院と密に連携し、学部出身者の比率が高い司法試験合格実績を上げてきましたが、2020年4月には中四国初の法曹コースを設立しました。本コース所属の学生は、2年生から学部科目に加え、大学院教員による高度な授業を前倒しで受けます。また、本コースで一定の成績を収めた者には、本法科大学院入試で法曹コース特別入試の受験資格が与えられます。

各種取り組み

本コース所属の学生は、勉強に必要な資料を取り揃えた資料室や、静寂が確保された自習室を特別に利用できるほか、OB・OGを含めた若手弁護士がアドバイザーとなって相談に乗るといった学修サポートが受けられます。また、本コースでは、本法科大学院の全面的支援を受けて、期末試験の講評や独自の授業評価アンケートを実施するなど教育改善を常に行い、学生をきめ細かく支援しています。

<国立大学>

香川大学

法曹プログラム

- 所在地 〒760-8523 香川県高松市幸町2-1
- 問合せ先 香川大学幸町地区統合事務センター 教務課
TEL:087-832-1859
Mail:j-gakumu-c@kagawa-u.ac.jp
- Web https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_jl/
- コースの定員 各学年15名（3年次コース在籍者数：13名）
- 連携先の法科大学院 大阪大学大学院高等司法研究科法務専攻
岡山大学大学院法務研究科法務専攻
広島大学大学院人間社会科学研究科実務法学専攻

Legal Mindで世界とつながる。香川で見つけよう、未来を。

特徴

香川大学法学部の法曹プログラムは、四国唯一の法曹コースとして2023年に始動しました。現在、大阪大学、岡山大学、広島大学の3つの法科大学院と法曹養成連携協定を締結しています。また、実践的な科目の提供に加えて、研究者教員と実務家教員による定期的な面談を通じた学修相談や、登録者向けの学習スペースの確保など、法曹を志す学生たちを全力で支援する体制を構築しています。

各種取り組み

法曹プログラムでは、講義科目で学んだ法律基礎知識を定着させ、併せて法的分析能力を養うために、研究者教員だけでなく、現役弁護士でもある実務家教員が実践的な指導を行います。また、連携法科大学院が行う授業を体験する機会も設けています。ほかに、現役の裁判官、検察官、弁護士が行う講義を受け、法曹の仕事についてより具体的なイメージを持つことができる科目もあります。

<国立大学>

九州大学

法科大学院連携プログラム

●所在地 〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744
 ●問合せ先 人文社会科学系事務部 学務課・法学担当
 TEL:092-802-6367
 Mail:jbkkyomu2la@jimu.kyushu-u.ac.jp

●Web <https://www.law.kyushu-u.ac.jp/>

●コースの定員 各学年30名(3年次コース在籍者数:24名)

●連携先の法科大学院 九州大学大学院法務学府 実務法学専攻

九州大学法科大学院と連携

特徴

九州大学法学部の専攻教育は2年生から本格的に行われます(1年生の後期にも少しだけあります)。法曹コース(法科大学院連携プログラム)への登録は2年生の前期終了時です。法学の学習を少し経験した段階で登録するか否かを考えることができます。学部で優秀な成績を修め、いずれかの法科大学院の特別選抜に合格した人を対象とした、3年間で学部を卒業できる制度もあります。

各種取り組み

法学部の取り組みとして、1年生向けに、弁護士・裁判官・検察官の方のお話をうかがったり、模擬裁判を経験したりできる企画が用意されています。連携先の九州大学法科大学院の教員が交替で行う、法曹コース生を対象としたゼミもあります。また、九州大学法科大学院の授業を受講したりすることで、同法科大学院に進学する人たちが実質的に単位を先取りすることができる制度もあります。

<私立大学>

福岡大学

法学部法律学科法曹連携基礎クラス

●所在地 〒814-0180 福岡県福岡市城南区七隈8-19-1
 ●問合せ先 福岡大学教務二課(法学部担当)
 TEL:092-871-6631
 Mail:hogaku@adm.fukuoka-u.ac.jp

●Web <https://www.law.fukuoka-u.ac.jp/about/jj/>

●コースの定員 各学年10名(3年次コース在籍者数:1名)

●連携先の法科大学院 福岡大学大学院法曹実務研究科 法務専攻

強い気持ちを持って、法曹へ

特徴

法学部生が、本学法科大学院での授業を体験したり、授業の様子を見たりする機会を増やすようにしています。法学部生のうちから、法科大学院での教育に接することによって、学部入学から最短5年で司法試験合格しようとする意識を強く持ってもらいたいと思っています。

各種取り組み

本学法科大学院教員が法曹クラス学生の複数の授業を担当し、法科大学院レベルの授業を実施するようにしています。また、法科大学院の授業科目早期履修制度のほか、法科大学院の授業体験の制度があります。法学部で不明な点がある場合、必要に応じて詳細を本学法科大学院に確認でき、法学部と本学法科大学院とで連携しています。

<私立大学>

西南学院大学

法務コース

●所在地 〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92
 ●問合せ先 教育支援部教務課 法学部担当
 TEL:092-823-3273
 Mail:lcm-sw@seinan-gu.ac.jp

●Web <http://www.seinan-gu.ac.jp/law/outline/legaldepartment.html>

●コースの定員 各学年30名(3年次コース在籍者数:23名)

●連携先の法科大学院 学習院大学大学院法務研究科 法務専攻
 中央大学大学院法務研究科 法務専攻
 早稲田大学大学院法学研究科 法曹養成専攻
 同志社大学大学院司法研究科 法務専攻
 九州大学大学院法務学府 実務法学専攻

法的文書(答案)作成能力の育成を中心とした少人数教育

特徴

法科大学院への進学を希望する学生だけでなく、公務員志望の学生や民間企業への就職を希望する学生などを含めた法律学習に意欲ある学生全般を受けて入れています。また、担当する教員は法科大学院において法曹養成教育に携わっていた者も多く、コースに所属する学生が法科大学院へ進学後に学習をスムーズに進められるよう、工夫した授業を行っています。

各種取り組み

基本六法を中心とした法律基本科目について、事例問題の検討・解説等を行い、授業後に学生から提出された答案を担当教員が添削するなど、法的文書(答案)作成能力の向上を目指す授業を設置しています。また、法務コース運営委員を務める教員2名による所属学生に対するアンケート調査・個別面談を通じて、所属学生の進路に応じたアドバイスや必要に応じた個別指導等を行っています。

<国立大学>

熊本大学

法学部法学科アドバンスト・リーダー・コース(法学特修クラス)法曹プログラム

●所在地 〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-40-1
 ●問合せ先 人社・教育系事務課法学部教務担当
 TEL:096-342-2319
 Mail:jsj-hogaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

●Web <https://www.law.kumamoto-u.ac.jp/curriculum/>

●コースの定員 各学年20名(3年次コース在籍者数:9名)

●連携先の法科大学院 中央大学大学院法務研究科 法務専攻
 早稲田大学大学院法学研究科 法曹養成専攻
 神戸大学大学院法学研究科 実務法律専攻
 九州大学大学院法務学府 実務法学専攻

マイペースに実力を養成できる安心カリキュラムと充実サポート

特徴

連携法科大学院とともに行う法曹養成のための一貫教育を、法学特修クラス内に「法曹プログラム」(法曹コース)として設置しています。同プログラムは2年次から開始し、少人数での法律文書作成、弁護士事務所へのインターンシップ等、特別なカリキュラムを設定しています。なお、法曹プログラムへの所属方法としては、入学時から所属する方法と入学後のコース変更による方法があります。

各種取り組み

法曹プログラムの学生は、所属要件や早期卒業要件について、高いハードルが課されています。このため、法曹プログラムの担当教員が、各学生の学修状況や進路動向等を把握し、適切かつきめ細やかな履修指導等ができる仕組みを設けています。また、法科大学院への進学に高い意欲を持った学生が自主的にゼミを行い、お互いに研鑽を積むことができるよう、授業外での学習支援も行っています。

<国立大学>

鹿児島大学

法曹養成連携プログラム

- 所在地 〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-30
- 問合せ先 鹿児島大学法学部学生係
TEL:099-285-7525
Mail:hgakusei@kuas.kagoshima-u.ac.jp
- Web https://kadai-houbun.jp/houkei-2/hougakucourse-2/legal_profession/
- コースの定員 定員なし(3年次コース在籍者数:8名)
- 連携先の法科大学院 千葉大学大学院専門法務研究科 法務専攻
中央大学大学院法務研究科 法務専攻
神戸大学大学院法学研究科 実務法律専攻
九州大学大学院法務学府 実務法学専攻

地方から法曹を目指す！
少人数を対象とする充実した学修指導

特徴

地方と呼ばれる地域で学ぶ学生を法曹の道へと導くため、豊富な実績のある4つの法科大学院と連携したプログラムによって、地域に貢献する法律家に必要なスキルとマインドを養います。全国でも最小規模の法曹コースであり、学生が少人数のため教員と学生の距離が近いのが特徴です。ひとりひとりの学生の状況を把握しながら、法律基本7科目の基礎はもちろんのこと、答案添削や個別の学修相談なども含めたきめ細かな指導を実現しています。

各種取り組み

法律基本7科目を3年前期までに徹底的に学びつつ、2年後期・3年前期に履修する「キャリア形成演習(法職入門A・B)」で応用的な思考力・表現力と文書作成能力を鍛えます。また、「実践演習(模擬裁判)」などの臨床教育科目を開講しています。さらに、連携協定を結ぶ法科大学院の先生方や各地で活躍する実務家の先生方の特別講義や講演により、法科大学院での学び、司法試験への取り組み、法曹の仕事を理解することができます。

<国立大学>

琉球大学

人文社会学部国際法政学科法学プログラム

- 所在地 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
- 問合せ先 琉球大学人文社会学部法科学務係
TEL:098-895-8188
Mail:hbgakmu@acs.u-ryukyuu.ac.jp
- Web <https://www.hs.u-ryukyuu.ac.jp/kokusaihosei/law/>
- コースの定員 定員なし(コース在籍者数:2名※令和6年度開設)
- 連携先の法科大学院 琉球大学大学院法務研究科 法務専攻

「地域にこだわりつつ世界をみつめる
(GLOCAL)」法曹の育成を目指す

特徴

徹底した少人数教育により、各学生の實力に応じたきめ細かい充実した指導を行っているのが特徴です。法科大学院教員の担当する法科大学院との共同開講科目を中心に、2年間以上かけてじっくりと学修することにより、法科大学院の入学に求められる基礎的な学識及び能力を体系的かつ段階的に修得することが可能です。今後、科目等履修生として本学法科大学院の授業を履修できる科目を充実していく予定です。

各種取り組み

法科大学院との共同開講科目については、法科大学院生の利用する教育支援システムを利用することができます。学生の学修支援に関し、沖縄弁護士会の全面的なバックアップをいただいております。法科大学院出身の若手弁護士がAA(アカデミック・アドバイザー)として授業をサポートしたり、サマースクール、答案練習会、オーダーメイドゼミなど、法科大学院生と同様の学習支援を受けることができます。

令和4年度「先導的¹大学改革推進委託事業」法科大学院等の教育の充実に関する調査研究（令和5年3月）
※文部科学省により令和7年3月に更新

文部科学省高等教育局専門教育課専門職大学院室
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/houka/houka.htm

株式会社ブレインアカデミー データサイエンスセンター
「法科大学院等の教育の充実に関する調査研究」事務局
<https://www.brainacademy.co.jp/>